

# 「デジタル時代に逆行?!」 印刷物の潜在能力を引き出す 100年企業

## 「印刷業一筋」顧客の心にかよう 印刷物を作り続ける

印刷業一筋1912年の創業以来100年以上続いている印刷会社が柏村印刷株式会社です。13年前に4代目社長に就任した柏村英男社長は、当時39歳でした。先代社長のブレーンである、10歳から20歳も年上の先輩社員達に、時には厳しく、時には優しく、多くのことを教えてもらいました。その中でも特に強く教えられたのは、「仕事には命を賭けなければならない」ということでした。毎日のように熱く言われているうちに、柏村社長の中に徐々にそのスピリッツが浸透してきたと話します。そしてついには、4代目になることを決意するまでになったそうです。

私たちの身の回りには、新聞、チラシ、DM、請求書や他郵便物、書籍、包装紙など多くの印刷物あり、それらは生活に欠かせないものとなっています。昨今の印刷会社は、デジタル化やネットワーク化といった言葉で溢れかえっており、「紙媒体で生きてきた業界自らに対し、風評被害を出し

ているような感じだと社長は言います。多くの会社が行っているような印刷からデジタルへのシフトは考えず、あくまで「印刷メディア」を提供する事にこだわっています。チラシ一つをとっても、費用対効果の確認をしっかりと、もつと印刷物がもつ可能性を拡げたいと常に考えているのです。

当社でもWeb事業を展開し、業界全体もデジタル化していく流れの中「当社は、ここでの製造業だと思つ」と言う柏村社長ですが、その実は、設備投資をすればとてつもない生産性を生み出すことができる業種である、ということに気づいたのです。

## 社員に対する優しさと厳しさが、 あなたかな社風を創る

「今の若い人の方が、自分たちやその上の世代の人より優秀だ」と柏村社長は言います。実際に、1言えは10で応える社員を見ていると、昔のように叱って育てるのではなく、認めたり褒めたりした方が成長すると感じています。

当社は100年以上の歴史がある、地域一番の企業であることもあり、角が立つことを言うような社員は存在しません。礼儀もしっかりわきままえおり、お客様や地域を意識できる人はかりだと言います。それでも、マナー違反などの出来ないところを見つけると、遠慮なしにハッキリと叱るようにしています。それは、人間教育をとっても大切に考えているからです。何か気になることがあったならば、決して先送りにはせず、おかしいことは「おかしい」とその場ではっきり言うことが大切だと考えています。

一方で、個人的な事情や悩みなどにも耳を傾けるように意識しています。いざ話を聞いてみれば、親のことやお子さ

んのことなどの問題が次々と出てきて、まるでお悩み相談室のようになっていくほどです。そうしているのは、プライベートで何か困ったことがあると、仕事に力が入らなくなることを考えているからです。「たとえ個人的な問題であっても一緒に考えてあげること、会社の仕事もうまく回っていくから面白い」と柏村社長は言います。親身になってする社員への気遣いが、その人にとっても会社にとっても良い結果を生み出すのです。なによりそれが、あなたかな社風を創り上げているのです。



EPOCH EPISODE  
**私の転機**  
クリエーター  
田和晃

## 励ましてくれる職場で、 仕事の誇りとやりがいを感じる

大学卒業後、情報通信の会社で企画の仕事をしていましたが、当社に入社して、Webデザインやチラシの編集の仕事をしています。この仕事をするきっかけは、子どもの頃から絵を描くことが好きで、「デザインの仕事ができたらいいなあ」と思っていたことがあります。入社して5ヶ月ですが、自分が手がけたホームページが公開された時には、「やれてよかった!」と、喜びとやりがいを感じました。時には、お客様のご要望と自分が仕上げたデザインが違っていたりして、先輩や上司から注意を受けることもありましたが、励ましてくれる環境があるからこそ、一人前に成長していけるのだと感謝しています。また、当社に入社してからは、学生時代と違って時間管理ができるようになりました。仕事には納期があり、納期を守るためには、時間管理の必要があるので。このように時間管理をしながら、仕事の責任を果たしていくと、会社の一員であることを実感できるようになっていきます。その実感と、伝統ある当社で働けることが、誇りとやりがいに繋がっていくと感じています。

## 【重視している人材育成ポイント】



代表取締役社長 柏村英男

### ■ 学生から見た魅力

高品質を提供する最新のオフセット印刷機など、時代に先駆けた大型の設備を導入していることに驚きました。その最新の設備と熟練した技術が融合されている点に、100年企業である理由を感じました。また、新入社員でも責任ある仕事を任されていることなどから、個人が尊重される社風が覗えました。また、社員食堂が綺麗で、休憩時間の会話も弾みそうです。経営理念にある「情報産業の担い手」として顧客の心に通う製品を、全社一丸となって作り上げていくところが魅力を感じました。

### 企業DATA

資本金●5,300万円  
従業員数●100人(40.0歳)  
設立●1913年  
売上高●17億1,000万円  
事業内容●総合印刷業、Web、ホームページ作成等  
初任給(基本給)●未定  
保険●雇用・労災・健康・厚生年金保険  
福利厚生●昇給年1、賞与年1、退職金制度、社内旅行  
休日休暇●日祝日他 年間108日

有給休暇・慶弔休暇

### 連絡先

〒697-0034 島根県浜田市相生町3889  
番地  
TEL.0855-23-2040  
URL.http://www.kashimura-printing.co.jp/



最近の雇用状況 (30歳未満の若年雇用者)		22年度	23年度	24年度
採用人数		1	3	9
離職者数		1	4	4